

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2019年 6月 27日

京都府知事 様



提出者

住 所 京都市中京区蒔絵屋町280

氏 名 住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建関西事業所  
京都エリア 高山 享士  
電話番号 075-213-7809

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友不動産株式会社 新築そっくりさん事業本部 戸建関西事業所 京都エリア
事業場の所在地	京都市中京区蒔絵屋町280
計画期間	2019年4月 ~2020年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	300,000万円
③従業員数	50
④産業廃棄物の一連の処理の工程	建築リフォーム工事 がれき類、木くず、金属くず、石膏ボード等→ 処理業者に全委託して埋め立て及び再資源化 (別紙フロー図参照)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図)  別紙管理体制図のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（ 30年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	（これまでに実施した取組）  リフォーム工事において、産業廃棄物の発生を極力抑える為、既存を生かしての下地工事を行っている。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排出量
	（今後実施する予定の取組）  上記取り組みの徹底
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） がれき類、木くず、紙くず、金属くず、石膏ボード、土壁等分別の徹底し、石綿含有廃棄物についても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別及び別保管し、処分を実施
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記取り組みの徹底

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙集計用シートの通り			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
別紙集計用シートの通り			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		別紙集計用シートの通り t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙集計用シートの通り	
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物処理計画書の〔集計用シート〕

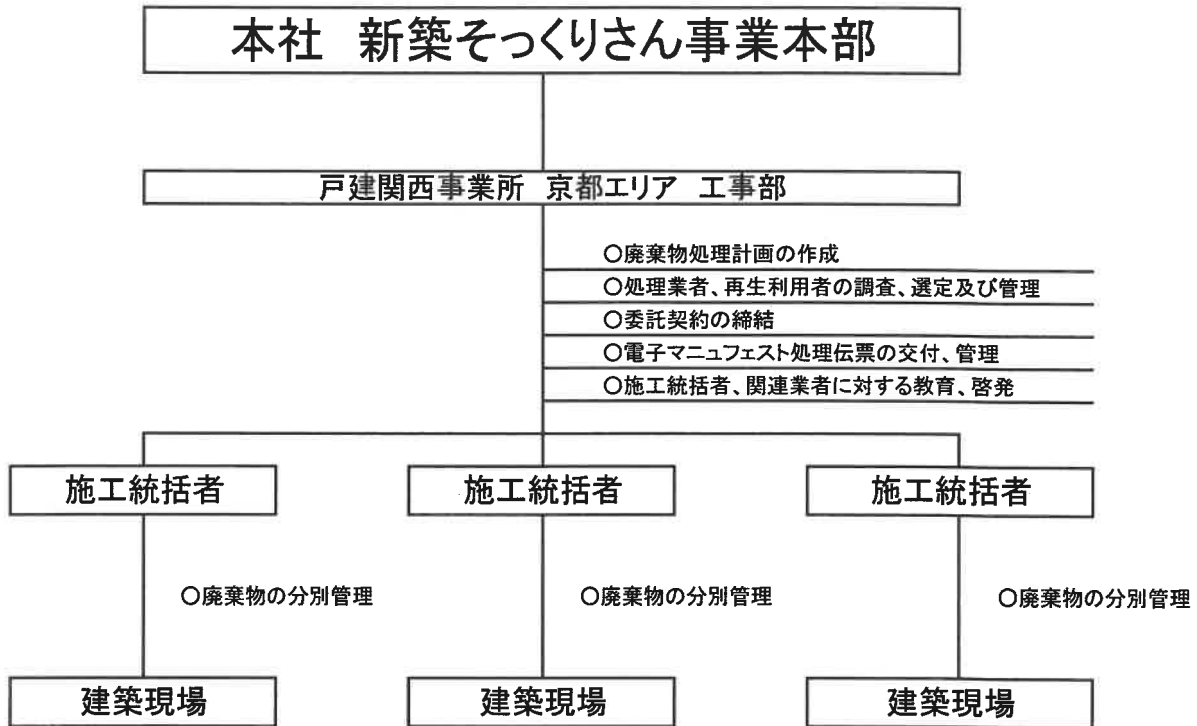
- ・下表にない種類の産業廃棄物については、「産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら直接再生利用した量(t)		③ 自己処理処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち焼却を行った量(t)		⑥ ④のうち中間処理した後の残さ(t)		⑦ ④のうち中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自ら処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ 委託及び自己処理した後の焼却委託量(t)		⑪ ①-②-③-④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩										⑫ ④+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳		⑳ ①+②+③+④+⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪+⑫+⑬+⑭+⑮+⑯+⑰+⑱+⑲+⑳					
	当該事業場において生じた産業廃棄物の種類ごとの量		①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量		①の量のうち、中間処理をせず自ら処分又は海洋投入処分した量		①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理別の量		④の量のうち焼却を行った量		自ら中間処理を行った後の量		④の量から⑤の量を差し引いた量		⑧の量のうち、自ら利用し又は他人に売却した量		⑨の量のうち、自ら処分又は海洋投入処分した量		中間処理及び最終処分を委託した量		⑩の量のうち、焼却委託者への委託委託量		⑩の量のうち、焼却委託者以外の焼却委託者への委託委託量		⑩の量のうち、認定焼却施設設置者以外の焼却を行っている焼却委託者への委託委託量		⑩の量のうち、委託して焼却等の中間処理した量(⑩-⑪を除く)		⑩の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量		⑩の量のうち、優良認定処理業者への委託委託量		⑫の量と⑬の量を合計したもの(自動計算)		⑭の量と⑮の量を合計したもの(自動計算)			
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標				
プラスチック類	109	110	0	0	0	0	0	0	0	0	109	110	0	0	0	0	0	0	109	110	62	70	47	40	0	0	0	0	0	0	0	0	109	110	0	0	0	0
金属くず	87	90	0	0	0	0	0	0	0	0	87	90	0	0	0	0	0	0	87	90	87	90	0	0	0	0	0	0	0	0	0	87	90	0	0	0	0	
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	215	215	0	0	0	0	0	0	0	0	215	215	0	0	0	0	0	0	215	215	0	0	0	0	0	0	0	0	215	215	215	215	0	0	0	0		
がれき類	304	310	0	0	0	0	0	0	0	0	304	310	0	0	0	0	0	0	304	310	304	310	0	0	0	0	0	0	0	0	0	304	310	0	0	0	0	
紙くず	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	0	0	0	30	30	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	0	0	0	0		
木くず	710	710	0	0	0	0	0	0	0	0	710	710	0	0	0	0	0	0	710	710	710	710	0	0	0	0	0	0	0	0	0	710	710	0	0	0	0	
繊維くず	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	8	10	0	0	0	0	0	0	8	10	8	10	0	0	0	0	0	0	0	0	8	10	0	0	0	0		
石含有産業廃棄物	28	30	0	0	0	0	0	0	0	0	28	30	0	0	0	0	0	0	28	30	0	30	0	0	0	0	0	0	0	0	28	30	28	30	0	0	0	0
炭石膏ボード	37	40	0	0	0	0	0	0	0	0	37	40	0	0	0	0	0	0	37	40	37	40	0	0	0	0	0	0	0	0	37	40	0	0	0	0		
混合廃棄物(安定型)	27	30	0	0	0	0	0	0	0	0	27	30	0	0	0	0	0	0	27	30	2	10	0	0	0	0	0	0	0	27	30	0	0	0	0			
混合廃棄物(管理型)	133	135	0	0	0	0	0	0	0	0	133	135	0	0	0	0	0	0	133	135	31	40	0	0	0	0	0	0	102	95	133	135	0	0	0	0		
混合廃棄物(管理型土壁等)	113	115	0	0	0	0	0	0	0	0	113	115	0	0	0	0	0	0	113	115	0	0	0	0	0	0	0	0	113	115	113	115	0	0	0	0		
合計	1,801	1,825	0	0	0	0	0	0	0	0	1,801	1,825	0	0	0	0	0	0	1,801	1,825	1,271	1,340	47	40	0	0	0	0	458	455	1,801	1,825	0	0	0	0		

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

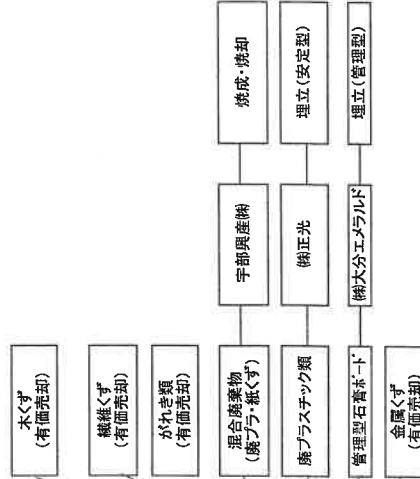




産業廃棄物処理フロー

別紙①裏面

平成27年11月1日



※()内の埋立方法は許可証に沿って表記しています。

産 廃 種 類  
 ① 廃プラスチック類 ② 紙くず ③ 木くず ④ 繊維くず ⑤ ゴムくず ⑥ 金属くず  
 ⑦ ガラスくず及び陶磁器くず ⑧ がれき類 ⑨ 管理型混合廃棄物 ⑩ 石綿含有廃棄物

産業廃棄物収集運搬、処分フロー図

